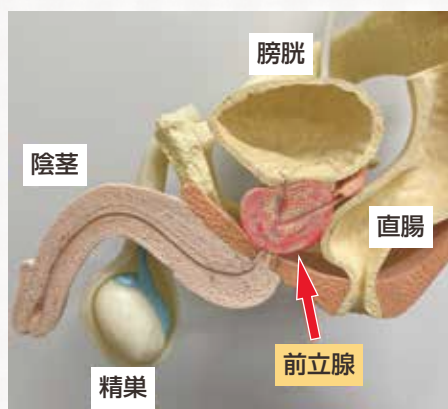




前立腺がんとは？

前立腺は精液の一部をつくり、男性の膀胱の出口、尿道の始まりの部分を取り囲むように存在する臓器です。前立腺がんは前立腺に発生する悪性腫瘍で、日本人の前立腺がん罹患数はこの40年間で約30倍に上昇し、現在では肺がん、胃がん、大腸がんとなぶ男性の主要ながんの1つになっています。病気の早期には自覚症状がほとんどないので早期発見には検診等の受診がとても重要です。一般的に予後は良好であり



ドクターの健康クリニック

前立腺がん：内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入

早期に発見し治療を行うことができれば完治を目指せます。

前立腺がんの治療

前立腺がんにはさまざまな治療法があり、年齢やがんの広がり具合に応じて治療法が選択されます。完治が期待できる場合に推奨される治療法の一つが外科手術であり、大きく分けて開放手術と内視鏡手術があります。内視鏡手術は従来の開放手術に比べて体の負担が少ないという長所があります。

内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」

ダヴィンチは内視鏡手術をサポートしてくれる医療機器であり、日本では2009年に初めて認可されました。手術を行うロボット部分とそれを術者が操作する部分とに分かれており、ロボット部分にある複数のアームに鉗子（かんし）やハサミ、3D



カメラを装着し、離れた場所にある操作台に座った執刀医が体内の立体映像を見ながらロボットのアームを遠隔操作し手術を行います。ダヴィンチのアームは人間の手よりも可動域が広く複雑な動きが可能となっており、内視鏡の映像から立体的かつ詳細な解剖情報が得られ、さらに

今月のドクター



大曲厚生医療センター
泌尿器科 科長

小泉 淳 先生

手ブレを補正する機能もついているため従来法よりも繊細で緻密な操作が可能となっています。それにより手術の質向上、排尿や性機能の温存、出血量の低減などから患者さんの負担軽減が期待できます。当院では2024年4月から前立腺がん手術においてこのダヴィンチを導入し運用を開始しています。

最後に

前立腺がんの早期発見には検診（PSA測定）がとても大事です。採血検査だけなのでまだ受けたことがない方はぜひ一度検査を受けることをおすすめします。前立腺がんは診断された場合、治療法は多岐にわたるため主治医の先生とよく相談をした上で納得できる治療法を選択してください。手術を希望される方やダヴィンチを用いた内視鏡手術に興味がある方は当病院への受診をご検討ください。